

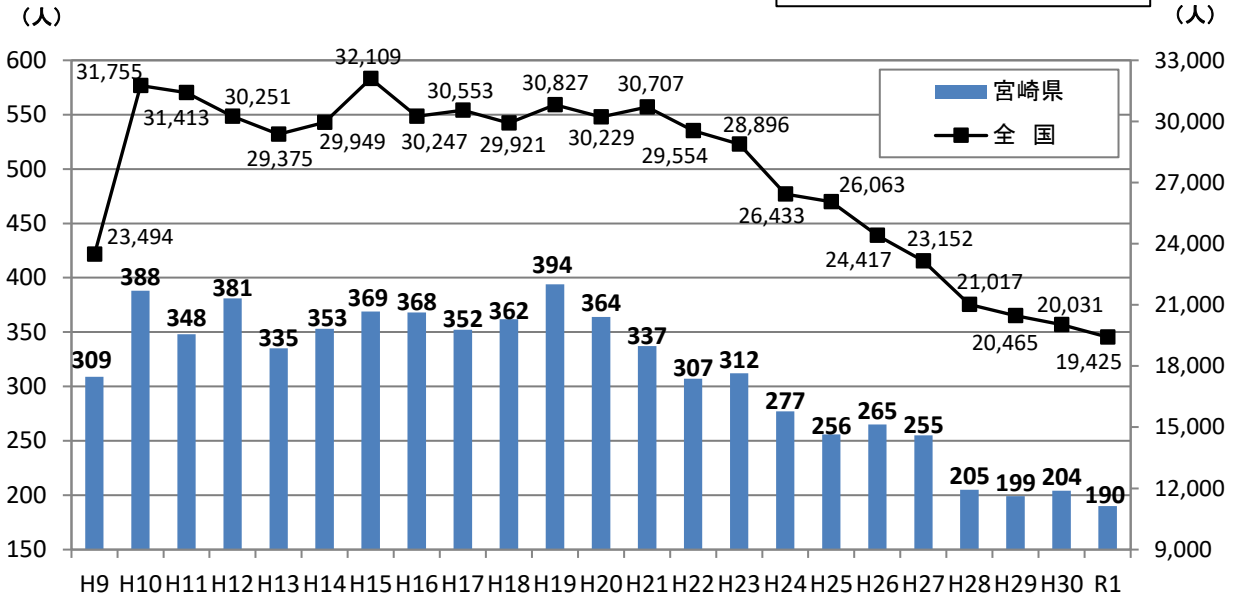
(1) 自殺の現状と課題について

① 自殺者数について

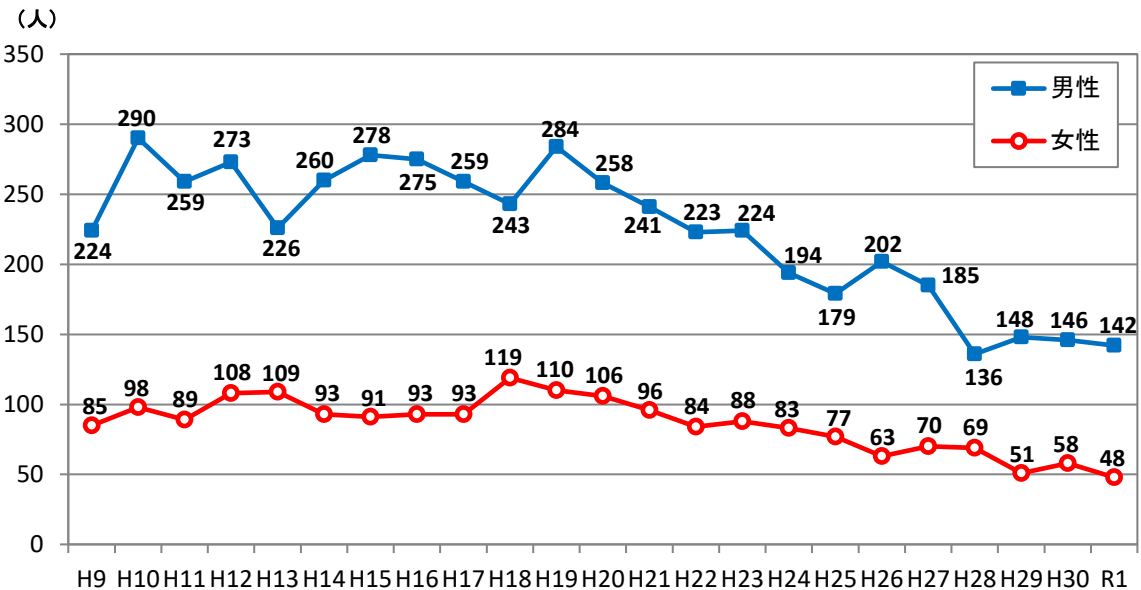
- 本県の自殺者数は190人と、前年の204人と比べて14人減少した。ピーク時の平成19年の394人からほぼ半分以下である。
- 男性の自殺者数は、女性の約3倍(自殺者数に占める男女別割合:男性約75%、女性約25%)となっている。

■ 全国と本県の自殺者数の推移(平成10～令和元年)

※ピークからの減少率
 全国 H15/R1 40%減少
 本県 H19/R1 52%減少



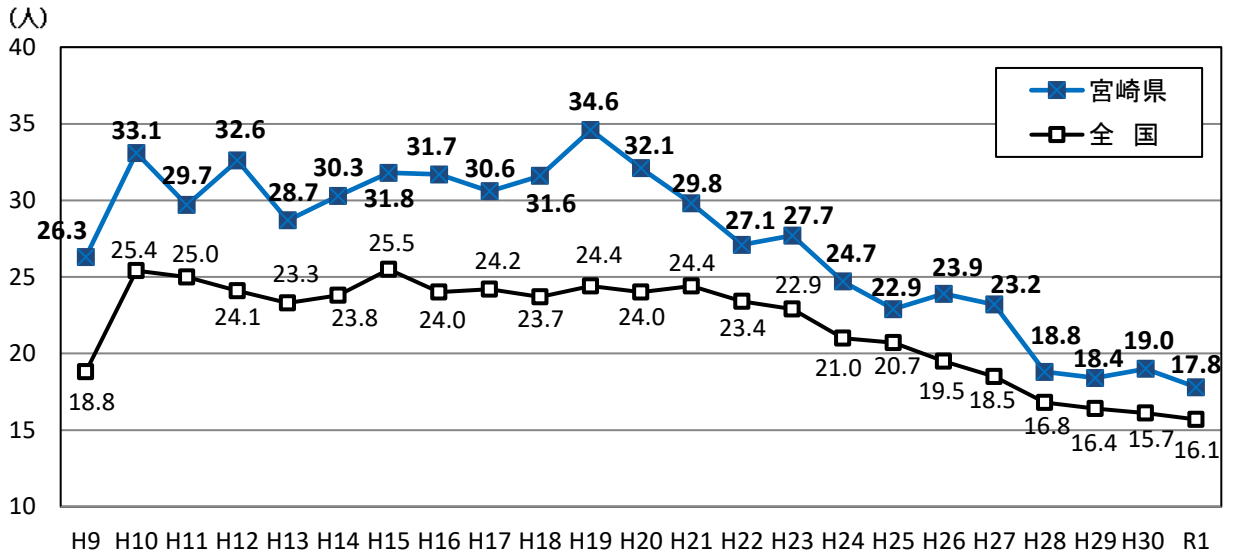
■ 本県の男女別自殺者数の推移(平成10～令和元年)



②自殺死亡率について

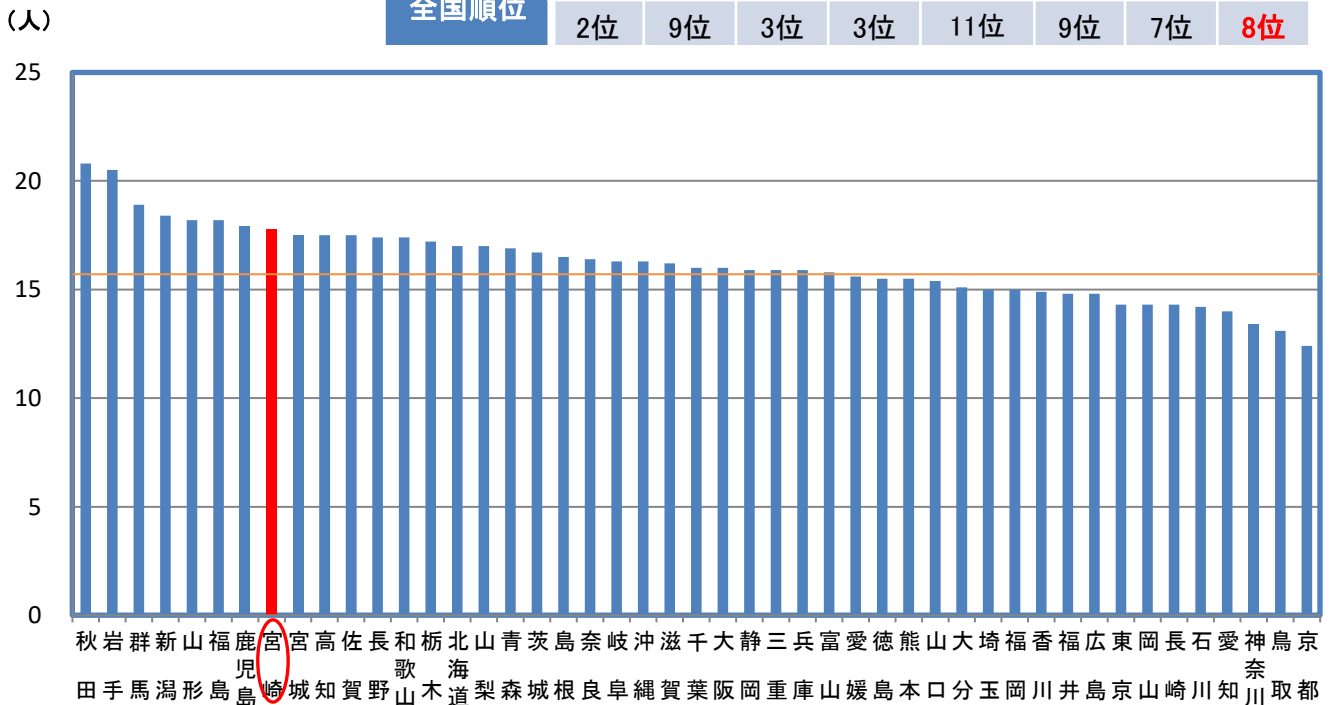
- 本県の自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)は、全国平均を一貫して上回っており、令和元年は17.8人(前年比-1.2人)となっている。
- 都道府県別で比較すると、本県は全国で8番目(九州では2番目)に高い。(H30年=7番目、H29年=9番目、ピーク時H19年=2番目)

■全国と本県の自殺死亡率の推移(平成10年～令和元年)



■都道府県別の自殺死亡率の比較(令和元年)

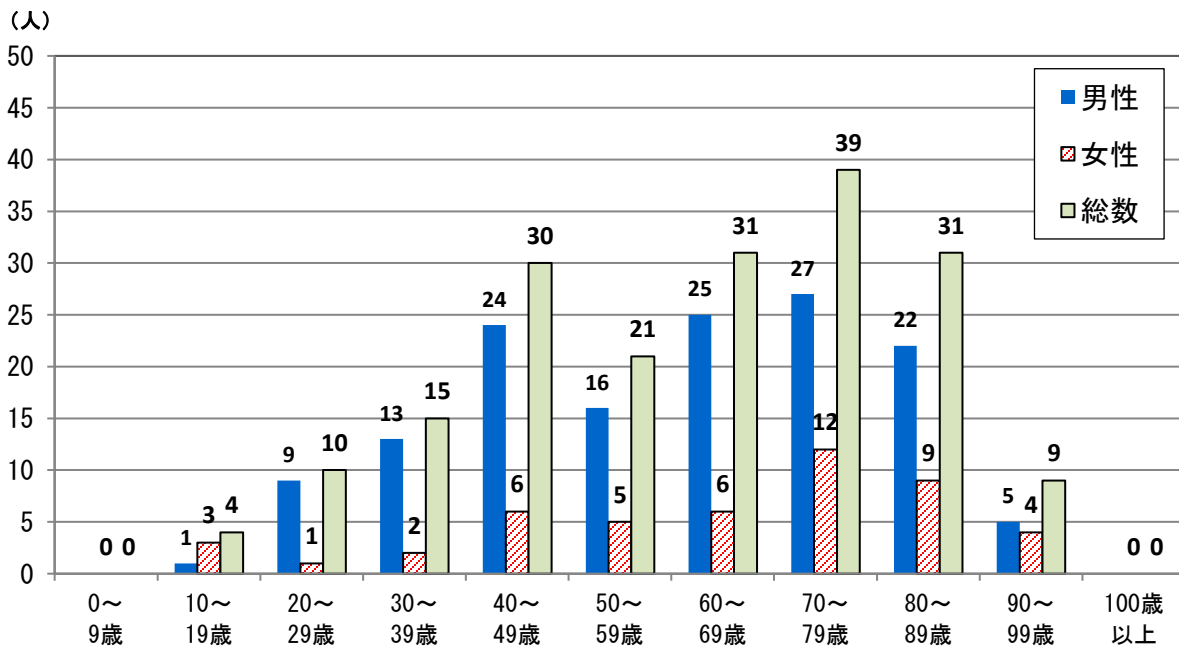
本県の 全国順位	H19	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
	2位	9位	3位	3位	11位	9位	7位	8位



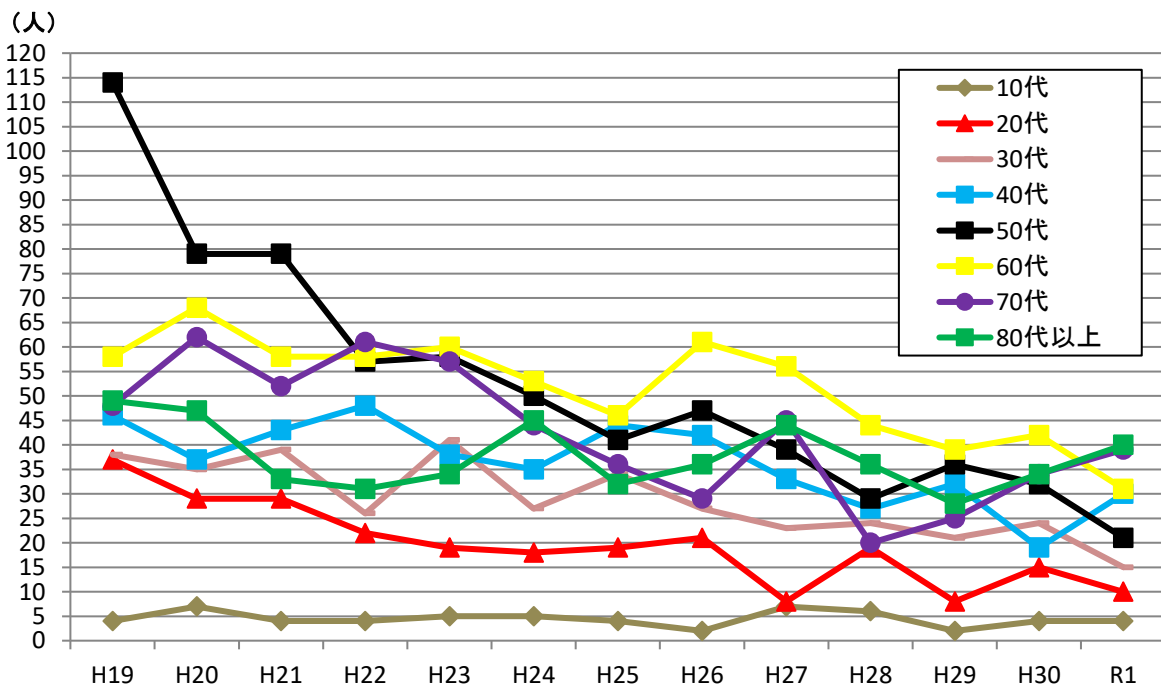
③本県の年代別自殺者数について

- 年代別自殺者数は、「70代」が最も多く、次いで「80代」及び「60代」の順である。
- 男女別に見ると、男女共に、70代が最も多い。
- 男性においては、「40代」から「60代」の働き盛り世代が依然として多い。
- 「10代」から「30代」の若年層については、低い水準を維持している。

■年代別・男女別自殺者数(令和元年)



■年代別自殺者数の推移(平成19～令和元年)



④本県の年代別自殺死亡率について

- 平成19年以降の本県の年代別自殺死亡率の推移を見ると、どの世代も年毎の増減はあるものの、概ね減少傾向にある。
- 男女別で見ると、平成30年と比較して、男性は40代及び80代以上の増加の幅が他の世代より大きい。他方、女性は全世代の自殺死亡率に大きな増加はない。

■全体の年代別自殺死亡率の推移(平成19年～令和元年) ※H20からH24分を省略

年齢階級	H19	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	対H19差	対H30差
10～19歳	3.3	3.6	1.8	6.6	5.8	1.9	3.9	4.0	+0.7	+0.1
20～29歳	33.9	20.5	23.2	9.1	22.7	9.8	18.7	12.7	-21.2	-6.0
30～39歳	27.9	26.1	21.3	18.6	20.1	18.1	21.4	13.8	-14.1	-7.6
40～49歳	33.9	33.6	31.7	24.8	19.9	23.5	14.0	22.1	-11.8	+8.1
50～59歳	62.7	27.5	32.4	27.5	21.5	27.1	24.5	16.4	-46.3	-8.1
60～69歳	41.3	27.1	35.5	32.0	24.6	22.3	24.9	19.1	-22.2	-5.8
70～79歳	36.6	28.1	22.7	36.0	16.5	20.0	25.9	28.2	-8.4	+2.3
80～89歳	55.6	31.8	33.4	39.4	33.4	30.7	29.5	34.2	-21.4	+4.7
90歳～	83.8	25.8	34.3	41.5	26.8	33.5	27.8	33.6	-50.2	+5.8
全体値	34.6	22.9	23.9	23.4	18.8	18.4	19.0	17.8	-16.8	-1.2

■男性の年代別自殺死亡率の推移(平成19年～令和元年) ※H20からH24分を省略

年齢階級	H19	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	対H19差	対H30差
10～19歳	3.2	5.3	3.6	11.1	5.7	1.9	3.9	2.0	-1.2	-1.9
20～29歳	47.3	33.3	40.7	9.2	31.5	19.8	20.0	22.7	-24.6	+2.7
30～39歳	36.5	40.8	37.1	34.8	31.0	26.6	38.6	24.7	-11.8	-13.9
40～49歳	58.7	50.9	54.9	43.6	28.9	37.9	21.1	36.2	-22.5	+15.1
50～59歳	97.9	43.2	48.7	38.2	27.9	45.9	43.4	26.2	-71.5	-16.8
60～69歳	71.5	44.0	58.0	48.7	34.8	38.0	35.9	32.1	-39.4	-3.8
70～79歳	58.1	42.9	35.7	58.2	26.0	30.4	40.4	42.9	-15.2	+2.5
80～89歳	89.2	39.2	56.8	64.0	53.8	43.9	52.2	64.0	-25.2	+11.8
90歳～	252.0	0.0	91.3	132.9	60.1	91.0	51.0	77.4	-174.6	+26.4
全体値	52.9	34.0	38.6	35.6	26.4	28.7	28.7	28.2	-26.7	-0.5

■女性の年代別自殺死亡率の推移(平成19年～令和元年) ※H20からH24分を省略

年齢階級	H19	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	対H19差	対H30差
10～19歳	3.4	1.9	0.0	1.9	5.9	2.0	4.0	6.1	+2.7	+2.1
20～29歳	21.4	8.4	6.5	9.0	14.2	0.0	17.4	2.6	-18.8	-14.8
30～39歳	19.9	12.0	6.1	3.1	9.8	10.0	5.2	3.6	-16.3	-1.6
40～49歳	11.3	17.6	10.2	7.2	11.4	10.0	7.2	8.6	-2.7	+1.4
50～59歳	29.1	13.0	17.3	17.6	15.6	10.1	7.3	7.5	-21.6	+0.2
60～69歳	14.7	11.4	14.6	16.5	15.1	7.7	14.8	7.1	-7.6	-7.7
70～79歳	20.2	16.7	12.5	18.6	8.9	11.6	13.9	15.9	-4.3	+2.0
80～89歳	38.5	27.6	19.9	25.0	21.3	22.8	15.8	16.0	-22.5	+0.2
90歳～	35.9	32.7	18.7	17.6	17.2	16.3	20.8	19.7	-16.2	-1.1
全体	18.2	13.0	10.7	11.9	11.9	9.0	10.2	8.5	-9.7	-1.7

⑤年代別死因順位について

- 本県の令和元年の年代別死因順位を見ると、若年層で自殺が死因の上位を占めている。
- なお、全体での死因順位を見ると、自殺は全国、宮崎県ともに10位圏外となった。

【参考】 自殺の死因順位はH30年全国：9位、宮崎県：10位

■年代別主要死因別順位(令和元年)

【本県】

年齢階級	1位	2位	3位
10代	自殺、不慮の事故		悪性新生物
20代	自殺	不慮の事故	悪性新生物
30代	自殺	悪性新生物	脳血管疾患
40代	悪性新生物	自殺	心疾患
50代	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患
60代	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患
70代	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患
80代以上	悪性新生物	心疾患	老衰

■本県の主要死因別順位(令和元年)

【本県】

順位	死因
1位	悪性新生物
2位	心疾患
3位	脳血管疾患
4位	老衰
5位	肺炎
6位	不慮の事故
7位	誤飲性肺炎
8位	腎不全
9位	アルツハイマー病
10位	間質性肺疾患

■全国の主要死因別順位(令和元年)

【全国】

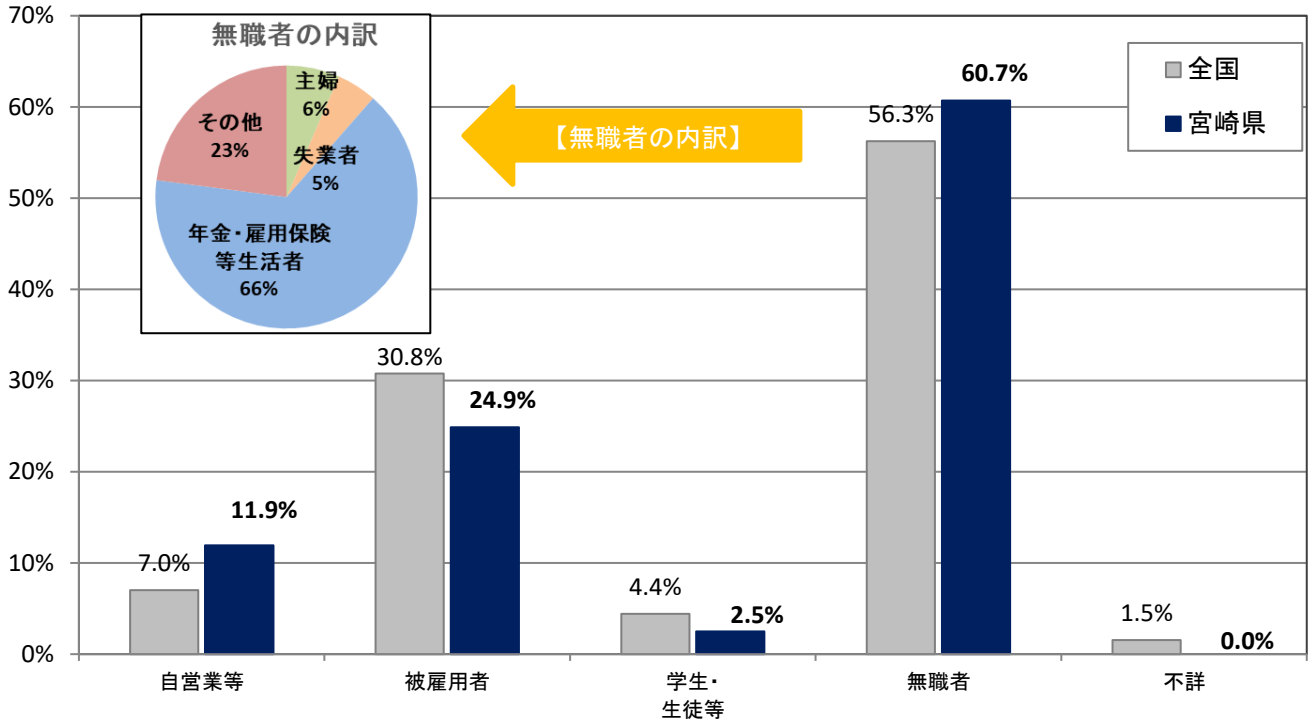
順位	死因
1位	悪性新生物
2位	心疾患
3位	老衰
4位	脳血管疾患
5位	肺炎
6位	誤嚥性肺炎
7位	不慮の事故
8位	腎不全
9位	血管性及び詳細不明の認知症
10位	アルツハイマー病

⑥職業別自殺者数について

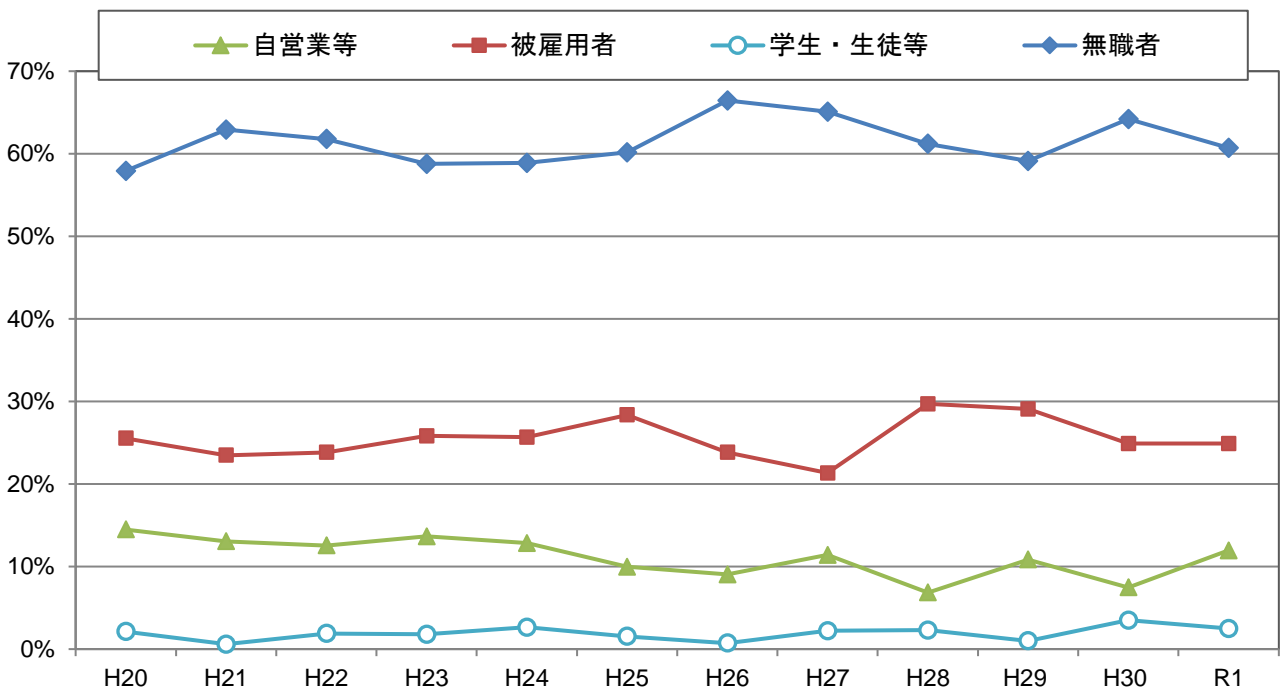
- 本県の職業別自殺者数の割合は、「無職者」が最も高く、次に「被雇用者」、「自営業等」の順となっている。
- 無職者の内訳を見ると、「年金・雇用保険等生活者」の割合が最も高く、昨年比で3名減少している。

【参考】H30年：83名（無職者全体：129名）、R1年：80名（無職者全体：122名）

■全国と本県の職業別自殺者数の割合（令和元年）



■本県の職業別自殺者数の割合の推移（平成20年～令和元年）



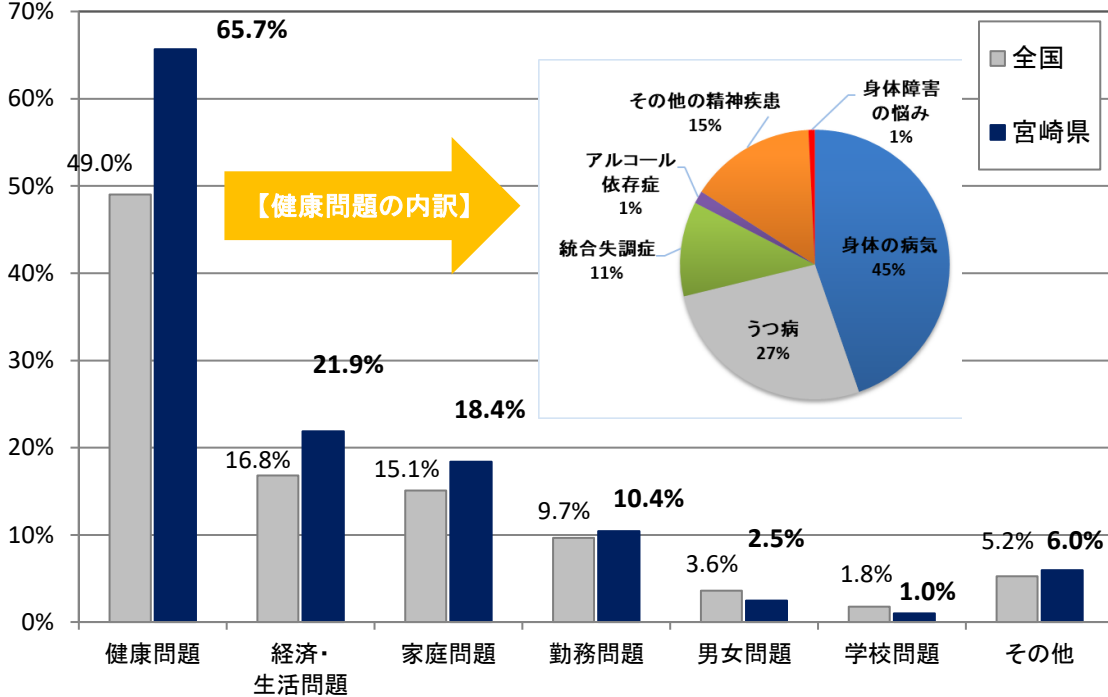
⑦原因・動機別自殺者数について

- 本県の原因・動機別自殺者数の割合は、「健康問題」が圧倒的に高く、その内訳を見ると、「うつ病」をはじめとする精神疾患が全体の5割以上を占めている。
【参考】健康問題の計上数（H30年：180個（うち精神疾患関連111個）、R1年：132個（うち精神疾患関連72個））
- 年代別の原因・動機別順位を見てみると、30代から70代では、「健康問題」に続いて「経済・生活問題」及び「家庭問題」が多くなっている。

注：「自殺の多くは多様かつ複合的な原因及び背景を有しており、様々な要因が連鎖する中で起きている」ことに注意が必要

■全国と本県の原因・動機別自殺者数の割合（令和元年）

注：原因・動機は自殺者一人につき3つまで計上可能



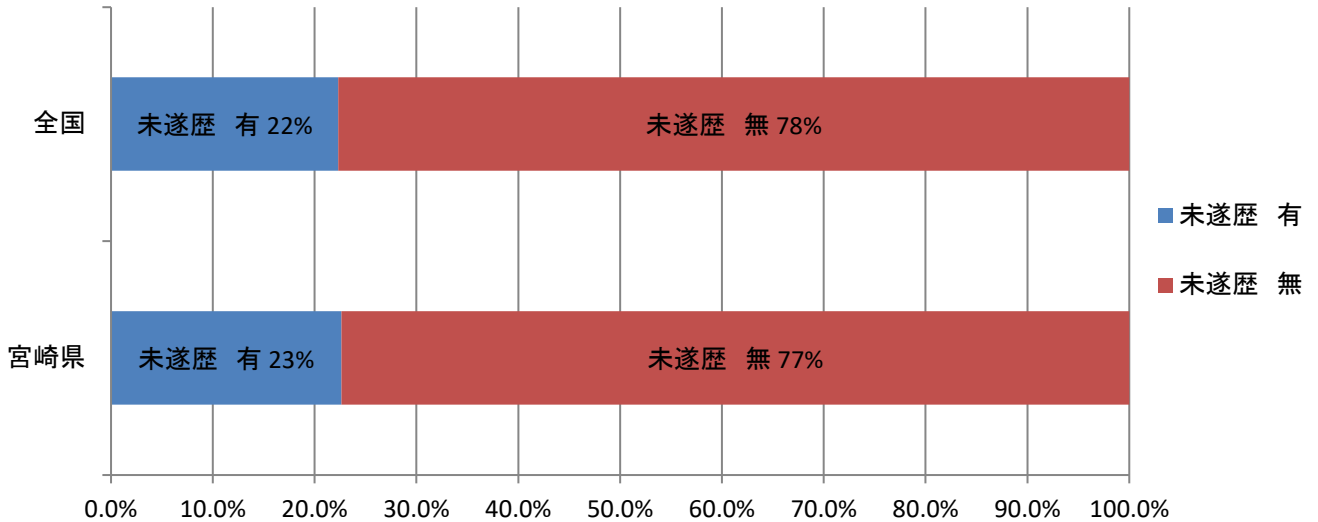
■本県の年代別の原因・動機別順位（令和元年）

年齢	1位	2位	3位	4位	5位
10代	学校問題 (50%)	家庭問題 (25%) 男女問題 (25%)		—	—
20代	健康問題 (36.4%)	勤務問題 (27.3%)	経済・生活問題 (18.2%) その他 (18.2%)		—
30代	健康問題 (26.1%)	経済・生活問題 (21.7%) 家庭問題 (21.7%)		勤務問題 (17.4%)	その他 (13.0%)
40代	健康問題 (43.8%)	経済・生活問題 (22.9%)	家庭問題 (14.6%)	勤務問題 (10.4%)	男女問題 (4.2%) その他 (4.2%)
50代	健康問題 (36.8%)	経済・生活問題 (26.3%)	家庭問題 (18.4%)	勤務問題 (13.2%)	男女問題 (4.2%) その他 (4.2%)
60代	健康問題 (51.4%)	経済・生活問題 (16.2%) 家庭問題 (16.2%)		勤務問題 (8.1%) その他 (8.1%)	
70代	健康問題 (70.8%)	経済・生活問題 (16.7%)	家庭問題 (8.3%)	勤務問題 (2.1%) 男女問題 (2.1%)	
80代以上	健康問題 (77.3%)	家庭問題 (15.9%)	経済・生活問題 (4.5%)	その他 (2.3%)	—

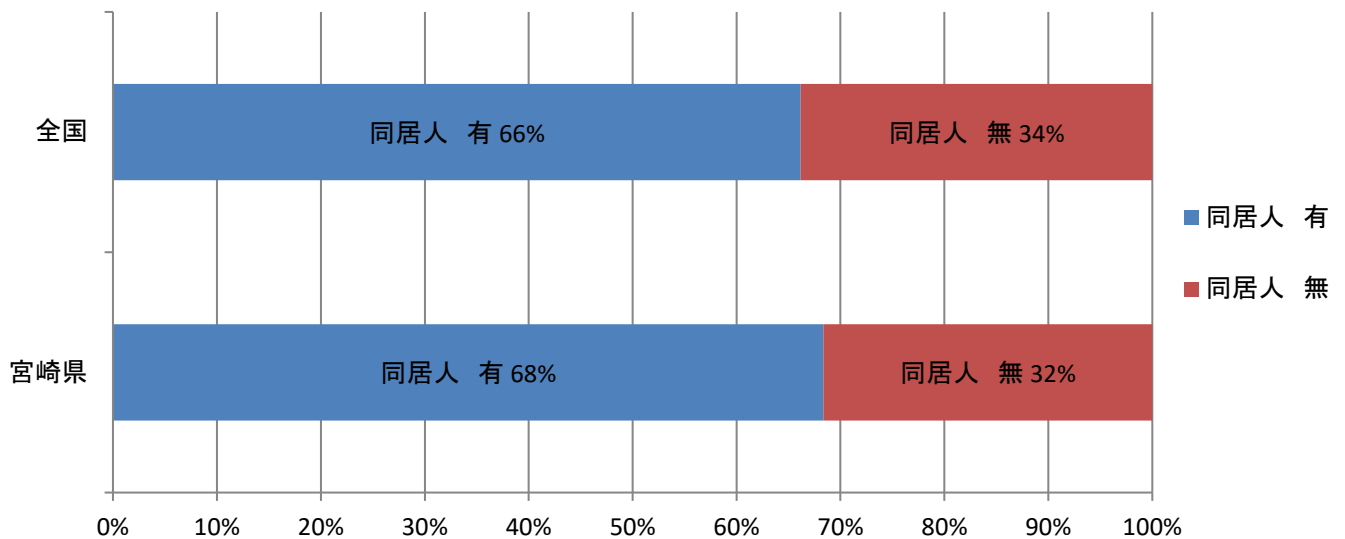
⑧ 自殺未遂歴の有無等について

- 本県の自殺者の過去の自殺未遂歴の有無を見ると、「未遂歴有」が23%、「未遂歴無」が77%となっており、約4人に1人が過去に未遂歴を有している。
- また、自殺者の同居人の有無を見ると、「同居人有」が68%、「同居人无」が32%となっている。

■ 全国と本県の自殺者の自殺未遂歴の有無(令和元年)

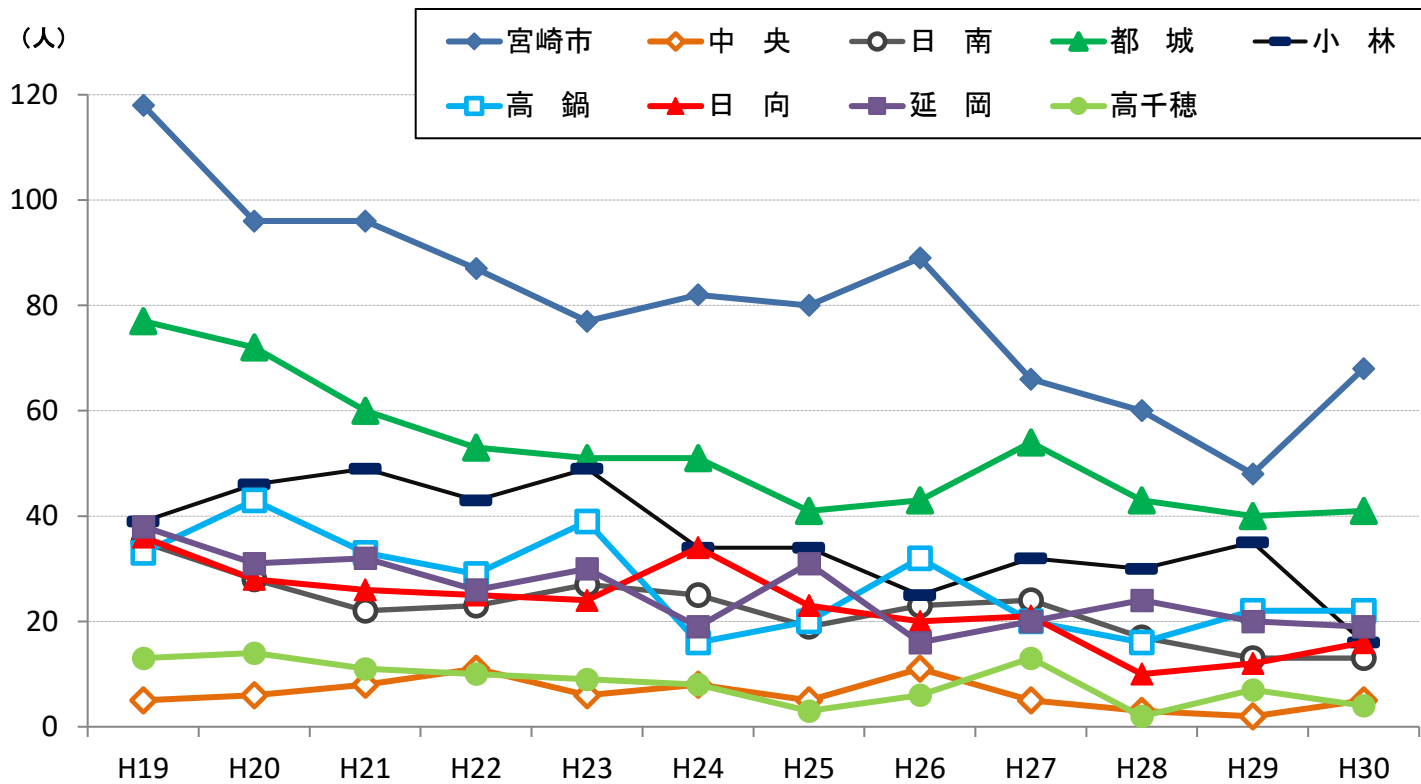


■ 全国と本県の自殺者の同居人の有無(令和元年)



⑨各保健所圏域別の動向について

■各保健所圏域別の自殺者数の推移(平成19年～30年)



■各保健所圏域別の自殺死亡率(人口10万人当たりの自殺者数)の推移(平成19年～30年)

